

1 目的

医療的ケア児とその家族を地域で支えられるようにするため、保健、医療、福祉、教育等の医療的ケア児支援に関わる行政機関や事業所の担当者が一堂に会し、地域の課題や対応策について継続的に意見交換や情報共有を図る協議の場

【委員(任期2年)】

外部委員10人… 大学教授(特別支援教育)、医師、医療・福祉・保育関係者、当事者
内部委員8人… 保健所(母子・医療)、障がい福祉、保育、教育の係長職

2 これまでの取組

関係機関の取組状況等の情報交換、ライフステージごとの課題整理等を行いながら、医療的ケア児やその家族の実態把握を進めてきた。

平成30年度	第1回 H30.6.12	○委員の自己紹介 ○関連事業の紹介 ○今後のスケジュール
	第2回 H30.7.31	○外部委員の講演(医療、重複障がい) ○外部委員からの情報提供 ○支援者養成研修の内容検討
	第3回 H30.9.5	○外部委員の講演(保育、当事者) ○実態調査の内容検討
	第4回 H30.11.20	○外部委員の講演(訪問看護、相談支援) ○実態調査の内容検討 ○胆振東部地震の報告
	第5回 H31.3.19	○実態調査の結果報告 ○胆振東部地震の取組報告 ○今年度予算の概要

令和元年度	第1回 R1.7.17	○外部委員の講演(特別支援教育) ○札幌市の施策状況の報告 ○今後のスケジュール
	第2回 R1.10.30	○外部講師の講演(新生児医療) ○アクションプラン策定状況 ○出生～地域移行期の課題整理
	施設見学 R1.12.18	榆の会の見学
	第3回 R2.1.27	○関連事業の中間報告 ○出生～地域移行期の課題整理(続き) ○乳幼児期の課題整理
	第4回 R2.3.17	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて中止

3 今後の検討会の進め方(案)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、活動を見合わせていた。令和3年度は、感染症対策を考慮し、オンラインによる会議を実施する(参集できる会場も確保)。

次回以降の会議では、令和元年度に開始したライフステージごとの課題等の整理の続きを行い、その結果を報告書にまとめる。

第1回(9月)

- 課題整理状況の振り返り
- 札幌市の施策事業の報告(令和2年度、令和3年度)
- 今後のスケジュール



第2回(12月)

- 学齢期の課題整理等



第3回(3月)

- 学齢期以降、ライフステージ全般に通じる課題整理等



令和4年度第1回(6月)

- 報告書案
- 札幌市の関連事業の状況

4 その他

- ・ 検討会は来年度以降も行い、意見交換や情報共有を継続する。
- ・ 報告書の作成を一区切りとして、その後の会議の開催頻度等については今後別途検討していく。